

亜熱帯森林・林業研究会会誌執筆要領

- 1 投稿者は、原則として本会会員に限る。筆頭者以外の共同著者には非会員を含むことができる。
- 2 原稿の種類は、〔論文〕，〔事例紹介〕などとし、亜熱帯地域の森林・林業に関するあらゆる分野の投稿を受け付ける。
- 3 論文は、2名の査読者による審査を行う。その他の原稿について編集担当者は閲読を行い、著者に対して原稿の字句の加除、修正を促すことができる。
- 4 原稿はパソコンを使用して作成し、PDFで送付する。
- 5 原稿は図表を含め、刷上がりで8ページ以内とする。
- 6 報文原稿の記述は次の順序にする。
 - 1) 表題、2) 著者名、3) 所属名、4) 要約、5) キーワード、6) 本文、7) 引用・参考文献原稿には必ず英文の表題、ローマ字書きの氏名・所属をつける。
- 7 原稿は現代かなづかい、常用漢字を用いた口語体の横書きとする。
- 8 原稿の提出に際しては、PDFで保存したファイルをCD等もしくは電子メールの添付ファイルで事務局あてに送付する。使用後のCD等は返却しない。
- 9 投稿カードを作成する。投稿カードには著者名、表題、ファイル名などを明記する。
- 10 投稿原稿作成の要領は、次の通りとする。
 - 1) 横40字（1段の字数）、縦40行（1段の行数）とし、余白は左端30mm、右端25mm、上端25mm、下端25mmとする。
 - 2) 使用する活字は、題以外は10.5ポイントとし、表題は14ポイント太字、副題がある場合は12ポイントとする。
 - 3) 漢字・仮名・カッコ・句読点は全角とし、数字・小数点・アルファベットは半角とする。
 - 4) 要約は、和文は400字以内、英文の場合は200ワード以内とし、それぞれキーワードを5語以内とする。キーワードは、あいうえお順とする。
 - 5) 本文の大見出しは、はじめに、材料と方法などを原稿例のように記入し、前項との間を1行空ける。中見出しは1., 2.のように算用数字で表す。
 - 6) 図は原則として白紙に黒色で明瞭に印字できるものとする。図をカラーで印刷したい場合は事務局に問い合わせる。図表は本文中に埋め込む。
 - 7) 表はできるだけ簡単にし、図と内容が重複しないようにする。表組について縦線は省き、横線は最小限にとどめる。空欄の多い表は避け、注を使う等の方法をとる。
 - 8) 本文中での文献の引用は、該当人名と年（以下の例）とする。
例・・・が報告（依田，1971）され、・・・と考えられ（黒岩，1990；中村，1992），・・・が報告されている（Nishioka *et al.*, 1978）。（著者が2名の場合は「・」，「and」を、3名以上は「ほか」，「*et al.*」を用いる）
- 11 生物名、外来語はカタカナで書き、学名の属名と種名はイタリック体とする。句読点および数字は半角とする。
- 12 単位は原則として国際単位系SIを使用し、単位の略記は次の例による。
温度：℃ 重さ：t, kg, g, mg, µg 長さ：km, m, cm, mm, µm
面積：km², m², cm², a, ha 容積：l, ml, cc, µl
濃度：mol, µmol, N, %, ppm, ppb 水素イオン濃度：pH
- 13 引用文献の配列は著者名のABC順とし、各文献の記載は著者名、刊行年、表題、雑誌名、巻（号）、頁の順とする。インターネット上の資料を引用する場合は、著者名（ウェブサイトの所有者等）、掲載年または更新年、資料名、URL、閲覧年月日とし、掲載年が不明の場合は省略することができる。3名以上の共著論文は、筆頭著者に「ほか」，「*et al.*」を付けて略記する。（号）は同一巻の各号でページ立てが独立の場合のみ表記する。次に例をあげる。

〔和文誌〕

那覇静香ほか（1997）カンヒザクラの外科手術．亜熱帯森林研究 10: 10-16.

〔欧文誌〕

Nago M, Ogimi D (2020) Changes in water potential in leaves of mangrove trees, Subtropical Forest 1 (2): 25-31.

〔オンライン誌〕

Ishigaki J *et al.* (2022) The root development in Chestnut, Tree and Disease (online) DOI: 10.xxxxx/treedisease.xxxx

〔書籍〕

宮古一郎（2023）宮古島における「松くい虫」侵入と撲滅の記録，123pp，琉球書房．

〔web 上の文書〕

沖縄県 有用樹木要覧 アカギ．

<https://www.pref.okinawa.jp/shigoto/kenkyu/1010919/1021637/1003010/1003012.html>（2025 年 7 月 1 日閲覧）．

〔書籍の一部からの引用〕

島尻佐和子・東風平獅子雄（2023）戦前期の大宜味村における薪炭林利用．（国頭直子編，沖縄型森林業の淵源と基盤．23-78 琉球大学出版）．

〔社会科学分野におけるヒアリング〕

2023 年 8 月 25 日 E 氏への聞き取り調査，沖縄県東部林業事務所の資料より．

〔史料〕

内務省地理調査所（1947）尾鷲 五万分一地形図宇治山田十六號（共十四面）．

14 初校の確認は原則として著者が行う．

15 原稿の送付先は，905-0012 沖縄県名護市名護 4605-5 沖縄県森林資源研究センター 亜熱帯森林・林業研究会事務局（メールアドレス：xx049420@pref.okinawa.lg.jp）とする．

附則 この要領は，2016 年 8 月 26 日から施行する．

附則 この要領は，2024 年 8 月 30 日から施行する．

附則 この要領は，2025 年 8 月 29 日から施行する．